



令和4年4月22日

各位

会社名 燦キャピタルマネージメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 前田 健司
(コード番号：東証スタンダード2134)
問合先 管理本部 総務部長 河野 美和子
(TEL. 03-6452-9626)
U R L <https://sun-capitalmanagement.co.jp>

(訂正)「(訂正)「資金用途の変更に関するお知らせ」の一部訂正について」の一部訂正

当社が、令和4年4月12日に開示いたしました「(訂正)「資金用途の変更に関するお知らせ」の一部訂正」に関しまして、記載に一部誤りがあることが判明しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正に至った経緯及び理由

今回の訂正につきましては、当社が令和3年12月27日に開示いたしました「資金用途の変更に関するお知らせ」について、その対象となった、令和3年4月30日付「第三者割当による新株式及び第12回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行並びに主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」及び令和3年5月20日付「第三者割当による新株式の一部失権及び「第三者割当による新株式及び第12回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行並びに主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」の一部変更について」並びに令和3年5月21日付「(追加) 第三者割当による新株式の一部失権及び「第三者割当による新株式及び第12回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行並びに主要株主である筆頭株主の異動に関するお知らせ」の一部変更について」にて開示した新株式及び新株予約権（第12回新株予約権）の資金用途変更について、当社における資金用途の充当状況に関して、当社としては当初開示しておりました資金用途の範囲に含まれると判断しておりました支出について、改めて当社内において検証し、一部、資金用途の変更として取扱うべきものが検出されたため、訂正することとし、令和4年4月12日付「(訂正)「資金用途の変更に関するお知らせ」の一部訂正」にて公表いたしましたが、再検証の結果、更に資金用途の変更として取り扱うべきもの及び記載の修正が必要なものが判明したため、訂正することといたしました。

① (ii) ■函館山ホテル取得資金7百万円につきましては、当該ホテルの取得にかかる税金等の費用として拠出した資金について、当初、当該ホテルの運転資金の充当としていたところ、資金の充当状況に関する検証の結果、当該ホテルの取得資金とするべきとの結論となり、本来は新株式による調達資金で充当すべきであったが、ホテル取得の資金予算を超過した分については、手元資金もなかったため、新株予約権行使による調達資金によって充当したため、変更いたしました。

(iii) 太陽光発電事業におけるID取得資金につきましては、支出時に調達資金が不足していたことから一部について手元資金を使用したため47百万円に減額いたしました。



②「地方創生・地域活性化」及び「SDGs」に関連する事業会社への投資及び融資資金 200 百万円につきましては、地方活性化に繋がる観光事業において、大型電気バスの導入を行う等、環境にも配慮した経営を行っている事業会社（プリンセスライン株式会社、所在地：大阪府寝屋川市香里本通町5-5、代表取締役：本田充成）に対して拠出した資金について、コロナ禍による当該会社の資金繰りに迅速に対応するための資金として、一旦、貸付金として拠出しましたが、将来的に出資に切り替えることを前提とした融資だったため、当社では投資資金の充当としていたところ、資金の充当状況に関する検証の結果、融資資金とするべきとの結論となり、変更いたしました。

③「地方創生・地域活性化」及び「SDGs」に関連する事業会社への投資及び融資資金 282 百万円につきましては、再生エネルギー関連事業であるバイオマス発電における原材料の洗浄事業（福島県森林組合連合会における再生エネルギー事業に関する請負事業）を行っている事業会社（株式会社フォレストシステム、所在地：兵庫県西宮市六湛寺町1-13、代表取締役：橋本博之）に対して拠出した資金について、当初、洗浄のための水素水生成装置の製造に早く取り掛からせるため、製造資金を当社の調達資金の状況に応じて拠出し、製造代金全額を払い終わった段階で、子会社化する目的で出資に切り替えることを前提とした融資を行いました。当社では投資資金の充当としていたところ、資金の充当状況に関する検証の結果、融資資金とするべきとの結論となり、変更いたしました。

④当社及び当社子会社の既存事業の運転資金 223 百万円につきましては、①②③⑤の変更に伴い、当初の資金使途の額より 93 百万円減額し変更いたしました。

⑤子会社セブンスター株式会社の増資の払込 21 百万円につきましては、「不動産特定共同事業」のライセンス維持に必要な資本増強のためのセブンスターの増資引受資金について、手元資金が不足していることから、当社グループの運転資金を資金使途変更し充当いたします。

2. 訂正箇所及び内容

訂正箇所には下線を付して表示しております。

2. 変更の内容

<変更後>

<訂正前>

【新株予約権の行使により調達する資金の使途】

具体的な使途	支出予定額	支出予定時期
①クラウドファンディング事業等 (ii) 不動産投資及びクラウドファンディング事業 ■ 函館山ホテル取得資金 ■ 函館山ホテル改装及び備品購入並びに運転資金 ■ 鹿野温泉別荘地土地取得及び建築資金 ■ 新大村駅前開発用地一部取得資金 (iii) 太陽光発電事業における ID 取得資金	7 百万円 250 百万円 240 百万円 100 百万円 47 百万円	令和3年5月～令和3年8月 (全額支出済み) 令和3年5月～令和5年5月 令和3年5月～令和5年5月 令和3年5月～令和5年5月 令和3年5月～令和5年5月 (内、 <u>5</u> 百万円支出済み)
②「地方創生・地域活性化」及び「SDGs」に関連する事業会社への投資及び融資資金	200 百万円	令和3年5月～令和5年5月 (全額支出済み)
③「地方創生・地域活性化」及び「SDGs」に関連する事業における設備投資資金	282 百万円	令和3年7月～令和3年12月 (全額支出済み)



④当社及び当社子会社の既存事業の運転資金	223 百万円	令和3年5月～令和5年5月 (全額支出済み)
⑤訴訟における解決金	536 百万円	令和3年12月～令和7年4月 (内、99 百万円支出済み)
合計	1,885 百万円	

<訂正後>

【新株予約権の行使により調達する資金の使途】

具体的な使途	支出予定額	支出予定時期
①クラウドファンディング事業等 (ii) 不動産投資及びクラウドファンディング事業 ■ 函館山ホテル取得資金 ■ 函館山ホテル改装及び備品購入並びに運転資金 ■ 鹿野温泉別荘地土地取得及び建築資金 ■ 新大村駅前開発用地一部取得資金 (iii) 太陽光発電事業における ID 取得資金	7 百万円 250 百万円 240 百万円 100 百万円 47 百万円	令和3年5月～令和3年8月 (全額支出済み) 令和3年5月～令和5年5月 令和3年5月～令和5年5月 令和3年5月～令和5年5月 令和3年5月～令和5年5月 (内、5 百万円支出済み)
②「地方創生・地域活性化」及び「SDGs」に関連する事業会社(プリンセスライン株式会社)への投資及び融資資金	200 百万円	令和3年5月～令和5年5月 (全額支出済み)
③「地方創生・地域活性化」及び「SDGs」に関連する事業会社(株式会社フォレストシステム)への融資資金	282 百万円	令和3年7月～令和3年12月 (全額支出済み)
④当社及び当社子会社の既存事業の運転資金	202 百万円	令和3年5月～令和5年5月 (内、199 百万円支出済み)
⑤子会社セブンスターへの増資への払込	21 百万円	令和4年2月 (全額支出済み)
⑥訴訟における解決金	536 百万円	令和3年12月～令和7年4月 (内、99 百万円支出済み)
合計	1,885 百万円	

以上